

『第16回 インフラ構造物長寿命化研修会』のご案内

主催	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
日時	令和6年10月7日(月) 14:00~16:30 (13:30受付)
場所	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構 3階研修室 (佐賀市鍋島町大字森田912番地)
研修項目	道路橋定期点検要領の改定と橋梁点検での新技術活用事例 (1) 14:00~15:00 「道路構造物をめぐる最近の動向等」 国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路保全企画官 安仲 努 氏 橋梁等道路構造物の定期点検は令和6年度から三巡目に入った。それに伴い道路橋定期点検要領が令和6年3月に改定された。 今までの定期点検の内容は概ね妥当である一方、外観状態から機械的に措置方針を決定する方法が散見され、点検品質のばらつきなどの課題も抱えていた。 改定後の道路橋定期点検要領では、それらの課題に対応するための見直しを図っている。 本講義では、道路構造物の老朽化の現状や道路施設の老朽化対策の取組状況等について紹介した上で、道路橋定期点検要領の改定概要について説明する。 (2) 15:00~15:45 「橋梁点検における橋梁点検ロボットカメラの活用事例」 (株)トップコンサルタント 山本 真一郎 氏 道路橋については、5年に1回の頻度で経年的な劣化状況を把握し、その結果を基礎資料として、適切な対応を実施することで、施設の長寿命化、ライフサイクルコストの低減を図ることとなっている。 調査手法としては、近接目視が基本となっているが、橋梁の数が多いことによる人材不足や狭隘な箇所のため、点検困難もしくは点検に多大な時間を要する場合が少なくない。 このようなことから、2020年度からは、近接目視と同等な点検技術が可能となっており、当社では、伸長可能なポールに小型カメラを設置し、タブレットPCを使って、カメラを操作する装置により、安全かつ効率的に点検を行っており、そのシステムの内容を紹介する。 (3) 15:45~16:30 「マルチビームソナーによる橋脚の洗掘状況をみえる化」 国際技術コンサルタント(株) 柴田 昌和 氏 橋脚、橋台基礎の洗掘については目視を基本として点検していたが、近年の豪雨災害による橋脚などの沈下や傾斜の発生が多発しており、水中部の洗掘状況を把握する事が重要となっている。 橋脚基礎は通常水中にあるため、目視の点検が難しく、洗掘調査を行うためには潜水夫などにより直接確認する必要があった。 そのため、点検の効率化・高度化を推進するためナローマルチビーム測深機を洗掘調査に使用するものである。
対象	自治体職員、建設コンサルタント、建設業者
定員	80名
参加費	1名につき 3,000円 【登録番号 T8300005000148】 (消費税10%対象 2,728円 消費税額 272円)
申込方法	メール (gkenshu@sagacat.or.jp) にて①研修会名、②氏名、③所属、④TEL、⑤受講証明書(CPDS・CPD・不要)のいずれかを明記のうえお申し込みください。1社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込多数の場合は人数調整をお願いすることがあります。参加費の支払方法は申込受付後、メールにてご連絡します。
申込期限	令和6年9月17日(火)~令和6年9月30日(金)17:00(定員になり次第締め切ります)
その他	(1) 駐車場は、クレオパーク鍋島内北東にある外部駐車場をご利用ください。(別紙参照) (2) 喫煙は所定の場所で行います。灰皿は設置しておりませんので、携帯灰皿をご準備ください。
問合せ先	公益財団法人佐賀県建設技術支援機構 技術部 企画情報課 TEL 0952-97-5596 FAX 0952-97-5603

※(一社)全国土木施工管理技士会連合会 CPDS(形態コード101-1、プログラム番号921916、3ユニット)、
(一社)建設コンサルタンツ協会 CPDに認定されています。



外部駐車場

Google